

諸教会・伝道所の皆様
平和を求める市民の皆様

路上生活をする方々に対応する食堂に御支援を

雪解けの大地に春の芽吹きを見出す季節となりましたが、安倍政治の暴走は止まりません。戦前の国体（天皇制ファシズム）への回帰を思わせる政策とアベノミクスによって一層深刻化しつつある経済格差の増大。北国の札幌では潜在的には 500 人のホームレス生活者があるとのこと。小銭がなくなるとネットカフェから路上へネグラを移して、常時 50 人ほどの人が厳冬の日々を過ごしてきました。年金も生活保護費も削減されています。「老後破産」も身近な現実となっています。

札幌豊平教会は、高齢の方を中心に 40 名ほどで礼拝をささげる小さなキリスト教会ですが、豊平橋のたもとに形成された極貧生活を余儀なくされた人々の集落において、111 年前にスミス女学校（北星学園の前身）創設者である S.C.スミス宣教師の始めた日曜学校にその源を持ちます。

聖書の御言葉を聞くばかりでなく、行動してきたのか。平和の礎となるためのたゆまぬ取り組みをしてきたのか。地域社会に仕えてきたのか。こうした反省のもとに、現在は、「他者と共に、他者のために、～地域と共に～」という方針を持って歩んでいます。小さな営みですが、地域社会の新しい再生を願い、昨年 6 月から「朝ごはん食堂(仮称)」を月 1 回開き、12 月からは天使大学学生ボランティアによる「天使食堂」を土曜日に月 1～2 回開き、このたび 4 月 7 日(金)より、路上生活をする方々に対応すべく毎週金曜日の昼に食堂を開くことを決めました。

このたび路上生活をする方々のための食堂を開くに至る直接のきっかけは、カトリック教会の方々が長年続けてきた金曜日の食堂が 3 月 31 日(金)をもって閉鎖となることで、関係者の方からの「引き継ぎではくれまいか」との打診を頂いたことにあります。これは 2 月に入ってからのもので、準備期間の短さもあって困難をも感じましたが、前述の朝ごはん食堂を支えて下さる 4 人の市民ボランティアの決断によって 4 月 7 日(金)開始が決まり、切れ目無く金曜の食堂を引き継ぐことができました。

しかし、通年で毎週金曜日に 30～50 食程度を準備することは、4 人でやり切るには荷が重く、沢山の方々の応援を必要としています。人手・食材・資金を求めています。

誰もが否応無く貧困へと突き落とされていく今日の社会にあって、命を支える食物の分かち合いは必要であり、「互いに生きよう！」というエールの交換であり、「人間の尊厳」にかかわる大事な取り組みです。毎回、花を添えた食卓を準備して、簡素でも心を込めた食事を作っていきます。是非、お力添えをお願いいたします。

2017 年 4 月 2 日 日本キリスト教会 札幌豊平教会牧師 稲生義裕
豊平区豊平 6 条 3 丁目 5-15 電話 8 1 1-6 8 3 8 fax 8 8 1-6 8 4 7
Email toyohirachurch@jcom.home.ne.jp ホームページ <https://www.ccjtoyohira.com>